

当院の取り組み



電子カルテ

電子カルテは保存性・真正性・見読性に優れ、毎日の業務を円滑に行うことができるため、当院では患者さんの個人情報や診療内容を全て高レベルの電子カルテで管理しています。

CSとESの向上

CS(顧客満足度)とおなじように、ES(従業員満足度)の向上が大切だと、当院の経営者は考えています。ESに対する主な取り組みとしては、職員食堂の充実、近住手当、資格手当などの他、残業時間をできるだけ減らし、有給休暇や育児休暇などを積極的にとることを推奨しています。またコンプライアンスに関しても整備を進め、不当な命令などハラスメントとみなされる行為が黙認されないような社風へと改善しました。

院内勉強会・院外発表

お昼の休み時間などを使い先輩や同期と固定やリハビリの練習ができるだけでなく、医師も参加する院内勉強会で発表し、高い評価の内容については県内・外の院外発表も支援されます。

充実した医療機器

医療機器が充実しており、使い方をはじめ、これらを使用して勉強をすることもできます。

主な医療機器 [超音波画像診断装置 ・ 筋電図 ・ 等速性筋力測定装置(CYBEX)]

その他、動作解析設備も備え、投球や歩行などのフォームチェック、リハビリなどに役立てています。

手術見学

当院では骨接合のほか、膝前十字靭帯や股関節置換、手指の腱縫合など様々な手術を行っています。それらの手術は、専門性の高い技術を誇る経験豊富な常勤医師らにより、整形外科専用手術室(3室)で行われます。他院ではなかなかみられない手術の見学も、当院では可能です。手術見学をすることにより、より患部の状態を把握することができ、リハビリに役立てることが出来ます。

診察補助入力

経験豊かな医師陣の診察で補助入力を行うことにより、固定やリハビリにおけるポイント、患者さんへの説明方法などを直接聞くことができます。臨床に必要な知識だけでなく、患者さんとの関わり方や診療テクニックを学べます。

チーム医療

医師、看護師、放射線技師、薬剤師、管理栄養士、柔道整復師、診療事務課職員など他職種とのコミュニケーションをとってチーム医療の一員として働くことにより、広い視野で患者さんを支えることができるようになります。

病院手術室



病院MRI室



病院外観



クリニックリハビリ室

